東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

高校生のための東京大学オープンキャンパス　2014

東京大学史料編纂所

史料編纂所（しりょう へんさんじょ）は、日本の古代から明治維新までの史料の研究と、史料集の編纂をおこなっている歴史学の研究所です。その淵源は、1793年に国学者の塙保己一（はなわ・ほきいち）が江戸幕府の援助を受けて開設した和学講談所までさかのぼります。

1901(明治34)年に史料集の刊行が開始されて以来、１１０年ほどの間に、『大日本史料』・『大日本古文書』・『大日本古記録』・『大日本近世史料』・『日本関係海外史料』・『花押かがみ』・『日本荘園絵図聚影』など、刊行された史料集は、総計1000冊を超え、国内外の日本史研究者に活用されています。

画像史料の研究と史料集

～　屏風絵・絵巻・絵図・古写真から歴史の舞台が甦る！　～

近年研究の進展が目覚ましい画像史料の模写やパネル、史料編纂所から刊行された史料集の一部を展示します！

◎大迫力！オーストリアで発見された幕末・明治の古写真（複製パネル）

◎絢爛豪華！史料編纂所で復元模写した『洛中洛外図屏風』（複製屏風）

◎中国に残る絵巻との比較研究が進む『倭寇図巻』（複製パネル）

◎歴史地震研究の史料として貴重な『江戸大地震之図』（原寸大複製パネル）

◎絵図の世界に誘う！史料集『日本荘園絵図聚影』・・・・・などなど。

【開催日時】：８月６日（水）　10：00～17：00

【開催場所】：東京大学史料編纂所　１階

（事前の申し込みは必要ありません。ご自由にご覧ください）

「洛中洛外図屏風」（部分）

「江戸大地震之図」（部分）